

サンサン畑の会 文部科学省の

学校給食表彰

鶴岡市藤島地域で学校給食に地場産の食材を供給する「サンサン・畑の会」(工藤征則会長)が、学校給食において地域をけん引する取り組みをしてきたとして、文部科学省の学校給食表彰を受賞しました

コロナへの対応で表彰式の開催は見送られました。11月19日には藤島ふれあい食センターで表彰伝達式が行われ、庄内教育事務所加藤弘人所長が工藤

会長に表彰状を手渡しました。工藤会長は「サンサン・畑の会はふれあい食センター・サンサンと一緒にスタートし、今年で20年を迎えます。会員農家が頑張ってきた積み重ねが表彰を受けたのだと思う。給食を通して子供たちと顔の見える関係を築けたことが宝物です。」と話しました。

有機農業 一般公開講座

有機農業 一般公開講座 受講者募集

受講無料 要申込み (定員20名)

主催/鶴岡市農林水産部農政課
対象: 有機農業取組者やこれから有機農業に取り組みたい農業者など

日時	内容	申込期間
12/9(木) 13:30-16:45	農業利用削減に向けた栽培技術と近年の研究事例 講師: 東京大学大学院 森原風雄 氏 内容: 農業使用量の削減に向けた基礎的な防除技術から近年の圃場試験での研究成果までを広く整理・紹介します。	11/29(土)~12/8(土)
12/18(土) 13:30-16:45	有機栽培のための土づくりの基本 講師: 新潟食料農業大学 教授 伊藤豊彰 氏 内容: 土づくりの基本的な考え方、方法、効果について有機栽培で問題となる事項とも関連させながら、解説します。	11/29(土)~12/8(土)

参加申込

フリガナ
氏名
住所
電話
FAX
E-mail
職業
所属

会場
鶴岡市立農産経営者育成学校
ISEADS (1号棟)

〒997-4334
鶴岡市千太郎田原山1-1
(旧いこいの村庄内)

問合せ先 / 鶴岡市役所農政課 TEL: 0235-35-1297 (直通)
FAX: 0235-25-8763 E-mail: nosei@city.tsuruoka.yamagata.jp

同会はこれまで、2004(平成16)年の「山形県地産地消実践活動賞」第1回受賞を始め、様々な表彰を受けてきました。文部科学省表彰は画期的です。同会は学校給食で地産地消に取り組み、農家による納入組織として2002(平成14)年に設立。センターと連携して地場産食材の安定供給に努めてきました。

鶴岡市の「有機農業一般公開講座」が開かれます。

12月9日(木)は、東

京大学大学院・藤原風輝氏『農業使用削減に向けた栽培技術と近年の研究事例』

12月18日(土)は、新

潟食料農業大学教授・伊藤豊彰氏『有機栽培のための土づくりの基本』です。

時間はいずれも13時30分~16時45分

会場は、農業経営者育成学校SEADS(シズ)「旧いこいの村庄内」。

受講料無料ですが、事前申し込みが必要です。(定員20人・市農政課)



後列左から小林博之(給食センター専門員)、荒木安子(栄養教諭)、高橋桃(栄養士)、赤坂宜紀(庄内教育事務所副所長) 前列左から、井上克浩(給食センター所長)、布川敦(教育長)、工藤征則(サンサン・畑の会会長)、加藤弘人(庄内教育事務所長)

藤沢周平を読む ⑬

鈴木重雄(八色木)

月心坊は8年もの間村のためにつくしてきた山伏である。それを羽黒から書き付けを持ってきて「俺どこ出で行けとは、あまりにも人情のねごとねがや。2, 3日は置いてからでもいなでねがや」

「それはよがんす」と大鷲坊が答えると、村役人は「村の衆サとつて、大事なのは書き付けでなくて、新しく来た山伏下が果たして月心坊以上の法力のある人だかどうかのことだの」

村人の1人は大鷲坊を見つめ、「腹痛もなおせねようでは、どうにもならねさげのう」と面と向かって言った。

「もし大鷲坊というこの人が、役に立たねようだば、羽黒さ総代を送つて、ちゃんと人が来るまで、月心坊を村さ居でもらう手もあるわけだの」

「試して見でもらいますかの」と大鷲坊はだみ声で言った。「試してよがんすが」と、村役人の利助は鋭く言った。

「はえ、どげだごどもごうごぞ」 「ンでがんすが、ンダば早速だんども、三左門の娘が歩けなくなつたな、なおしてもらうかの」

「歩けね?」 「ンだ。三左門では、月心坊がらご祈禱してもらたんども、なおらねがったの。もしそれをなおしえれば、月心坊にまさる山伏で言うことえなる。どげだ? やてみますがの?」

大鷲坊がどう答えるか、おとしは胸をとどろかせて聞き耳を立てた。 おきくと言う娘は、三左門の娘で16になる。足が立たなくなつてから半年もなる。三左門では月心坊だけでなく、信心している善賢寺からも僧侶を呼んだりしたが、なかなかおらず、今は諦めていた。

あれは無理だと、おとしが思ったとき、大鷲坊は無雑作に「ンだばご祈禱してみましょ」 おきくは、歩けなくなつてからしばらくの間は茶の間まで出て、家の人と一緒にものを食べたたり話をしたりしたが、ここ2か月ばかり、奥座敷に敷いた床に寝たきりになっていた。

父親が抱いて茶の間まで出そうとするが、いやがり、長患いの病人のように食も細くなり、青白い顔をして天井を眺めている。 暗い座敷から出ようとしな。家のものは外に病でもあるのかと心配しているが、手の付けようがないのである。

利助が持ってきた新しい山伏の話は、頼みの綱のように思えた。 〈この小説は戸川安章先生(民俗学)の指導によると、周平が言っている〉

漫興

其一

高秋鶴阜起霜風
学館景色樹葉紅
酒井主君尊孟子
古今儒教誦兒童

漫興

其の一

高秋 鶴阜 霜風 起こり
学館の景色 樹葉 紅なり
酒井の主君 孟子を尊び
古今 儒教 兒童に誦ず

城貞(藤の花)



秋たけなわとなり、鶴岡に霜を帯びた寒い風が吹き始め 致道館あたりの風景は 木の葉が紅に染まっている。酒井家の殿様は 孟子の教えの儒教を尊び
今も昔も子供たちに 孟子のおしえである仁義、道徳を説き身を修めることを目的とした 説を語っている。

漫興 〓 なんとなく詩情がわく。高秋 〓 高く澄みわたった秋の空。鶴阜 〓 鶴岡。霜風 〓 霜気を帯びた寒い風。学館 〓 鶴岡の致道館。景色 〓 風景。紅 〓 あざやかな赤色。酒井 〓 酒井家。主君 〓 殿様。尊 〓 尊敬に値するものとして大事にする気持ちや行為。孟子 〓 孔子の後をついでその説を発展させた人。古今 〓 昔も今も。儒教 〓 道徳を説き身を修める教え。誦 〓 説き語る。兒童 〓 子供。

ひと

日下部勇一 (庄内町榎島)

波瀾(乱)万丈の人生

青山 崇



もともとは、日下部君が自伝として『庄内町民報』に連載したものである。

私が『民報』に「ひと」を連載しはじめたので、自伝を私流に補強して掲載させて戴けないかとお願ひし、快諾えたので連載するものである。

なお勇一君は旧余目町議と庄内町議、合わせて41年の議員歴であ

る。

生い立ちと父の死

勇一は1945年(昭和20)1月1日、世の中こぞつて祝う超めでたい日に、旧余目町(現庄内町)榎島(まぎしま)に生れた。

父勇、母チヨキの長男であった。嬉しかった父は自分の一字を与えて勇一とした。

榎島は、庄内で数少ない「榎島古墳」があり、現在は復元されて、庄内町農村環境改

善センターに保存・展示されている。

それまで石棺の石片だけ保存していたのを、勇一が議会で取り上げた現在のよう復元したのである。私も少々手伝わせて貰った。

何故榎島に古墳があったのか。最上川の舟つき場があり、そこを支配する豪族がいたのではと推定されている。全国の事例としてもそのような場所が古墳が発見されている。

1955年(昭和30)、父は42歳の若さで他界した。勇一はまだ小学



政権が変われば

長く続いたドイツのメルケル首相が退いた。替わって3党の連合政府が出来た。その政府は、米欧の軍事同盟・北大西洋条約機構(NATO)からと米の核の傘から抜け出すのではないかと心配されているようだ。当然アメリカからは圧力が掛かるだろうとも。

▲この中で報じられているのは、ドイツ国内の基地には米戦術核兵器が配備されているだけに影響は大きく、他の参加国が追従する可能性がある。となつていふ事。日本にも核兵器が入っているんじゃないかと思つたんだ。

▲非核三原則に「持ち込ませない」とあつても密約が多い日本。武器輸出三原則を変えたし。ましてや、国是だつた「集団的自衛権は無い」と言ふものを強引に変えたアベ政権など、何が隠されているか疑いが必要な日本は悲しいぜ。(石川)

日本共産党山形県議団は29日、吉村美栄子知事に「燃油高騰対策を求める緊急要請」を行いました。県内の灯油店頭価格は1缶18リットルで昨年比1.5倍の1886円(11月15日現在)となり、生活困窮者の死活問題になっていきます。県の福祉灯油は5千円分であり、生活保護世帯は制度の対象にならない問題について、厚労省の事務連絡で対象に出来るか指摘しています。

私「民報」に「ひと」を連載しはじめたので、自伝を私流に補強して掲載させて戴けないかとお願ひし、快諾えたので連載するものである。なお勇一君は旧余目町議と庄内町議、合わせて41年の議員歴であ